

# 謹賀 新年

## 伊豆の国市役所



あけましておめでとございます。  
昨年は、「北条義時イヤ〜」として、近隣市町と共に大いに盛り上がった年でした。大河ドラマ「鎌倉殿の13人」のロケが市内外で実施され、多くの方がエキストラとして参加しました。また、最小の経費で設置した大河ドラマ館も、予想を大幅に上回るお客様が訪れ、ゆかりの地や観光施設周遊など市の活性化にも寄与しました。市民の皆様も、市の豊かな歴史を再認識されたのではないのでしょうか。

また、昨年のエネルギー価格・物価の高騰は、我々の生活がいかに戦争などの世界の出来事に左右されるものか思い知らされました。尊い人命を奪う戦争の一日も早い終結を祈るばかりです。

全国旅行支援、水際対策の大幅な緩和など、厳しい中にも観光に追い風も吹いています。多くの方々にご協力いただいた昨年のにぎわいを絶やさないよう、施策を展開してまいります。加えて、引き続き「市民が主役」の考えのもと、経済・福祉・教育・子育て・防災などに力を入れ、まちづくりを進めてまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして明るい幸せな一年となりますよう祈念申し上げます。新年のあいさつとします。

伊豆の国市長

山下正行

あけましておめでとございます。

議員必携には「議員は、住民の代表者である。それは、住民が考えていること、思い願っていることの全てを代表するということである。大きく叫び、強く訴える組織やバックを持った住民の声は容易に把握できるが、地域社会の片隅にいる弱者の声、組織を持たない住民の小さい声、声なき声やため息は聞き取りにくい。住民と行政の橋渡しをすべき議員は、全ての声を把握してこれを代表し、住民の心情をつかんでその心で物事を考えることが大事である。」とあります。

伊豆の国市議会は、市民の代表機関であることを認識し、市民の多様な意見を的確に把握するとともに、市政に反映させるよう努めています。

議会は積極的な情報公開と情報発信を行い、市民に開かれた議会を目指しています。より良い未来に向かって一歩一歩前進していけるよう行政と議会が一体となって努力することを約束して、新年のあいさつとします。

伊豆の国市議会議長

内田隆久

※井川弘二朗議員は撮影当日欠席のため写真に掲載されていません。